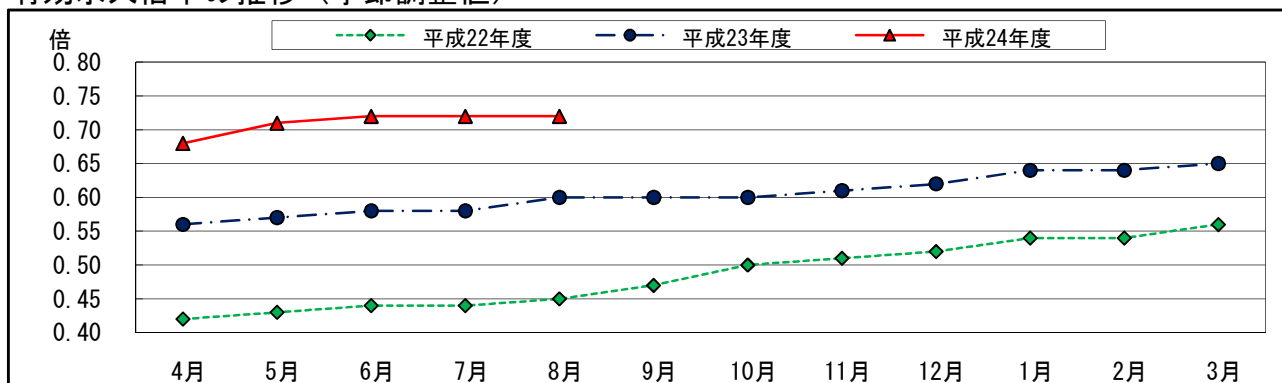


有効求人倍率の推移（季節調整値）



職業紹介主要指標

項 目		24年 8月	24年 7月	前月比 (差)	23年 8月	前年同月比 (差)	
全数 (パートを含む)	1. 新規求職申込件数	6,435	6,138	4.8	7,522	▲ 14.5	
	2. 月間有効求職者数	27,139	27,874	▲ 2.6	29,096	▲ 6.7	
	3. 新規求人数	7,230	7,053	2.5	6,449	12.1	
	4. 月間有効求人数	18,577	18,123	2.5	16,536	12.3	
	5. 紹介件数	11,424	11,392	0.3	11,799	▲ 3.2	
	6. 就職件数	2,522	2,645	▲ 4.7	2,741	▲ 8.0	
	7. 充足数	2,398	2,490	▲ 3.7	2,682	▲ 10.6	
	8. 有効求人倍率(倍)	季調値	0.72	0.72	0.00	0.60	0.12
		原数値	0.68	0.65	0.03	0.57	0.11
	9. 就職率 $\frac{6}{1}$ (%)	39.2	43.1	▲ 3.9	36.4	2.8	
10. 充足率 $\frac{7}{3}$ (%)	33.2	35.3	▲ 2.1	41.6	▲ 8.4		
中高年 (パートを含む)	11. 新規求職申込件数	2,242	2,181	2.8	2,667	▲ 15.9	
	12. 月間有効求職者数	11,125	11,464	▲ 3.0	12,154	▲ 8.5	
	13. 紹介件数	3,853	3,867	▲ 0.4	4,183	▲ 7.9	
	14. 就職件数	808	863	▲ 6.4	954	▲ 15.3	
	15. 就職率 $\frac{14}{11}$ (%)	36.0	39.6	▲ 3.6	35.8	0.2	
雇用 保険	16. 適用事業所数	19,971	19,970	0.0	19,713	1.3	
	17. 被保険者数	275,146	275,213	▲ 0.0	272,615	0.9	
	18. 離職票提出件数	1,742	1,878	▲ 7.2	2,023	▲ 13.9	
	19. 受給資格決定件数	1,610	1,680	▲ 4.2	1,802	▲ 10.7	
	20. 受給者実人員(所定内)	7,419	7,579	▲ 2.1	8,228	▲ 9.8	
	21. 総支給金額(千円)	864,313	859,384	0.6	985,903	▲ 12.3	

8月の雇用の動き

本県の労働市場における有効求人倍率（季節調整値）は、有効求人数（同）が前月比1.1%減少したものの、有効求職者数（同）も1.2%減少したことから、前月と同水準の**0.72倍**となり、前年同月比では、0.12ポイント上昇し30か月連続の上昇となった。

新規求職者数（原数値）は、前年同月比で12か月連続減少し、有効求職者数（原数値）も、17か月連続で減少している。新規常用求職者（パートを除く）を求職時の態様別にみると、前年同月比で全ての態様別において減少している。特に無業者が同38.7%減少（10か月連続）している。又、離職者のうち事業主都合によるものも同24.7%の減少（33か月連続）となっている。

一方、新規求人数（原数値）は、前年同月比で30か月連続増加し、有効求人数（原数値）も30か月連続増加している。産業別にみると、公務・その他が85人（63.0%）減、複合サービス業が40人（28.2%）減、等で18産業中7産業で減少し、医療、福祉が340人（21.1%）増、卸売業・小売業が273人（26.0%）増、建設業が121人（32.4%）増、学術研究・専門・技術サービス業が69人（63.3%）増、（18産業中11産業で増加）等となっており、全体で781人（12.1%）の増加となった。規模別にみると、前年同月比で29人以下規模事業所が553人（14.3%）増となっており、中小規模事業所からの求人意欲が窺える。

職業紹介状況は、紹介件数が3.2%減の11,424件となり、就職件数も8.0%減の2,522件となった。うち、パートの紹介件数は1.4%減の2,835件となり、就職件数は1.9%減の760件となった。

就職率（対新規求職者）は、2.8ポイント上回って39.2%となった。

雇用失業情勢は、引き続き緩やかな改善傾向は見られるものの、円高の長期化や中国との関係等による影響リスクがあり、今後の経済の動き、求人・求職の動向を注視する必要がある。